

新評論

2021
4・5
No.312

発行所 ◎新評論 2021年
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
http://www.shinhyoron.co.jp
e-mail : shrm@shinhyoron.co.jp
振替 00160-1-113487 價格税込

世界一の古書店街に開業して70年。ファンに愛され続ける居酒屋の歴史・秘話・魅力を3代目亭主が縦横に語り尽くす



今宵も神保町の路地にボツンと、それでいて存在感抜群の提灯がともる。

「兵六」

風を感じるこだわりの居酒屋(仮)

柴山雅都

◆ジャンル:ドキュメンタリー/居酒屋文化

世界一の古書店街、神田神保町。その片隅に、戦後すぐに開店して70年以上続いている小さな居酒屋「兵六」がある。この店を開いたのは、気骨ある薩摩出身の明治男、平山一郎。上海に留学し、戦後引き揚げてくるまでに魯迅や芥川龍之介、尾崎秀実などと交流をもつっていた。初代亭主がかもし出す魅力で、「兵六」は瞬く間に「名店」と呼ばれるようになった。「出没!アド街ック天国」(テレビ東京)では、これまでに三回も紹介されており、「吉田類の酒場放浪記」(BS-TBS)では「二〇〇〇軒達成記念」として、二〇二一年二月に二回目の登場となつた。もちろん「サライ」をはじめとして、多くの雑誌にも紹介されている。そのさい必ず触れられるのが、初代の妻、秀子が生み出した中国由来の絶品料理の数々だ。これを食べるため訪れる常連も多い。客席数二〇ほどの小さな居酒屋、提供されるお酒といえば焼酎を中心に五種類しかない居酒屋、コロナ禍でも常連を中心とした存在感抜群の提灯がともる。

片隅に、戦後すぐに開店して70年以上続いている小さな居酒屋「兵六」がある。この店を開いたのは、気骨ある薩摩出身の明治男、平山一郎。上海に留学し、戦後引き揚げてくるまでに魯迅や芥川龍之介、尾崎秀実などと交流をもつっていた。初代亭主がかもし出す魅力で、「兵六」は瞬く間に「名店」と呼ばれるようになつた。「出没!アド街ック天国」(テレビ東京)では、これまでに三回も紹介されており、「吉田類の酒場放浪記」(BS-TBS)では「二〇〇〇軒達成記念」として、二〇二一年二月に二回目の登場となつた。もちろん「サライ」をはじめとして、多くの雑誌にも紹介されている。そのさい必ず觸れるのが、初代の妻、秀子が生み出した中国由来の絶品料理の数々だ。これを食べるため訪れる常連も多い。客席数二〇ほどの小さな居酒屋、提供されるお酒といえば焼酎を中心に五種類しかない居酒屋、コロナ禍でも常連を中心とした存在感抜群の提灯がともる。

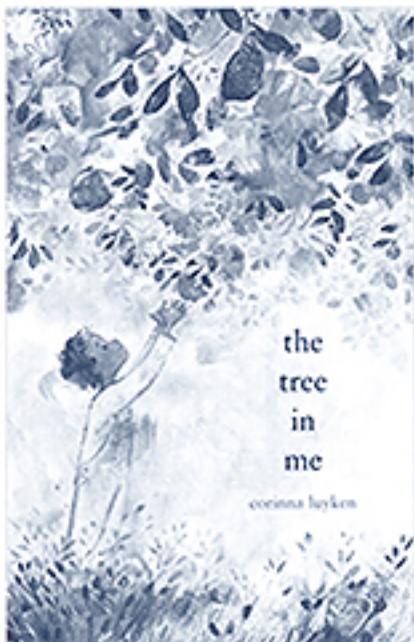
心として多くのお客さんが訪れている居酒屋。なぜ「兵六」はこれほどまでに愛されているのだろうか。その秘密を自ら探るために、三代目亭主となつた柴山雅都(初代の甥)が、七〇年の歴史を振り返りながら本書を著すことになった。

三代目として店を継いだとき、著者は二五歳だった。当時は茶髪のロン毛で、どこから見ても「チャラい」若者。そのうえ下戸ときていて。どこから見ても老舗居酒屋の亭主とは思えない。また、客商売であるにもかかわらず、自ら「コミユニケーション障がいがある」とも言う。そんな三代目が書いた「兵六の物語」、さてどんな話になるのだろうか。

開店時の様子から初代の人間的な魅力、そして雑誌やテレビでは触れない平成以降の様子を読み進めていくと、時空を超えて、日本の「居酒屋文化」の本質が見えてくる。

ISBN978-4-7948-1179-0
四六並製 予二四〇頁 予二二〇〇円
5月初旬刊

著者 1968年、東京都練馬区に生まれる。神奈川大学法学部法律学科中退。大学在学中に「兵六」の手伝いをはじめ、現在、三代目亭主を務める。好きなものは「FC東京」「ジブリ」「劇団四季」。共著書として『兵六亭——神田辺りで呑んだ』(兵六亭50周年記念出版、私家版)がある。



原書影印

自然とともにあらわす人間の生を、力強く、温かく、美しく描く。
子どもと一緒に自然・生命・環境を考えるのに最適の絵本!

ぼくのなかの木

コリーナ・ルウケン／島津やよい 訳

◆ジャンル：4～8歳向け絵本

新緑の季節、風にそよぐ木々の梢や、
陽をあびて輝く若葉を眺めていると、つ
らいこと、いやなこともいつ忘れま
す。酸素をつくり、生態系を整備してく
れる植物のなかでも、人間にとつて樹木
は別格の存在です。この世をささえる
「世界樹」や、旧約聖書の「生命の樹」な
どのイメージにあらわなどおり、樹木は
古来、世界の中心をなす軸、あるいは永
続的な力強い生命力の象徴として、人類
の畏怖と尊崇の対象となってきました。
あらゆる生物を生かし、人間の心の撫
り所ともなってくれる木々を、わたした
ちはどうあつかつてきたでしょう。じぶ
んたちの都合で植えつけ、伐りたおし、
利用するばかりでした。それでも木々は
——空や風、川や海や大地も——、なん
の見返りももとめず、傷つけられても文
句も言わず、今日もわたしたちにふんだ
んな恵みをあたえてくれます。

エコがだいじだとだれもが言います。
世界各地で大勢の人々が環境保全活動に
尽力しています。けれど、人間が自然を
客体として庇護しようと考へるかぎり、
保全活動は開発や産業などべつの活動と
ぶつかり、妥協や後退を余儀なくされる

でしよう
だから
しは木で
しのなか
がいる。
をもつ木
実を内な
べての存
と考えて
えし、「わ
実をなす、
と言う必

だから、木になつてみましよう。わたしは木であり、木はわたしであり、わたしのなかに木があり、木のなかにわたしがいる。わたしたちはみな強靭な生命力をもつ木のように、根・幹・枝・葉・花・実を内なる自然として有し、自然界のすべての存在と永遠につながっているのだ、と考えてみるのです。なんどでもくりかえし、「わたしのなかの木」が花を咲かせ、実をなすまで、そして「自然をまもろう」と言う必要がなくなる日まで。

本書はこのコンセプトを、「まちがいなんてないよ」の著者が、今回も力強く美しい絵と詩的な文章でいきいきと描いた傑作絵本です。お子さん・生徒さんとともにひもとき、人間と自然のかかわりやエコをとらえなおすきつかげともしていただければ幸いです。（しまづ・やよい）

ISBN978-4-7948-1181-3

5月
中旬刊

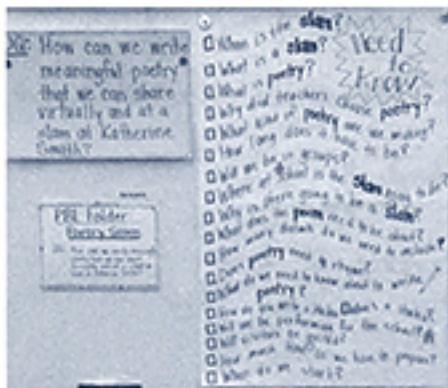
上製 五六頁 予一九八〇円
4変型(251.5×160mm)

好評刊
まちがいなんてないよ
コリーナ・ルウケン(文 絵) / 島津やよい 訳
◎哲学的で冒険心あふれる絵本 一九八〇年

まちがいなんてないよ
コリーナ・ルウケンヘ文・絵／島津やよい
◎哲学的で冒険心あふれる絵本
一九八〇年

よい訳

作者 Corinna LUYKEN 絵本作家。1978年サンフランシスコ生まれ、ミドルベリー大学卒。邦訳に小社刊『まちがいなんてないよ』、『エイドリアンはぜったいウソをついている』(岩波書店)。作品はいずれも子どもの感性や想像力を豊かに育む副教材として、全米の教育現場で採用されている。



小学校におけるプロジェクト学習の一例。生徒たちは関心に即して知りたいことや質問を書き出し、学習計画を立てる(ジョン・ラーマー提供)

生徒と教師が共に学習計画を立て、何をどう学ぶかを決めていく。人生や社会の課題解決を見据えた学び方の新たなスタンダード。

プロジェクト学習とは (仮)

スージー・ボスティジョン・ラーマー
池田匡史・吉田新一郎 訳

◆ジャンル:教育

「あなたが教職を志した理由は何ですか?」

この問いかけは、本書が薦める「プロジェクト学習 (Project Based Learning、以下 PBL)」を学校で推進する役目を担う人物が、教師に投げかけたものです。教員は教壇に立つと、知識やスキルを伝達することに固執するあまり、つい生徒の学びをコントロールしてしまいがちです。PBLは、一つのプロジェクトを通して、自分の人生や社会の課題を解決するスキル、さらには社会のつくり手となるためのスキルを身につけるための、教師と生徒が共につくる学びの文化です。本書では、PBLの具体的な進め方はもちろん、生徒一人ひとりをいかした学びを実現するための「質の高いPBL」について、数多くの詳細な実践例をもとに紹介しています。

さらに注目すべき点は、PBLが「教育の公平性を実現するためのツール」としての役割を果たすという信念に基づいています。そして、教育の公平性に関する信念は、PBLにかかる多様な生徒同士の関係性だけでなく、教師と生徒との関係性においても貫かれています。

この問いかけは、本書が薦める「プロジェクト学習 (Project Based Learning、以下 PBL)」を学校で推進する役目を担う人物が、教師に投げかけたものです。教員は教壇に立つと、知識やスキルを伝達することに固執するあまり、つい生徒の学びをコントロールしてしまいがちです。PBLは、一つのプロジェクトを通して、自分の人生や社会の課題を解決するスキル、さらには社会のつくり手となるためのスキルを身につけるための、教師と生徒が共につくる学びの文化です。本書では、PBLの具体的な進め方はもちろん、生徒一人ひとりをいかした学びを実現するための「質の高いPBL」について、数多くの詳細な実践例をもとに紹介しています。

PBLは教師と生徒という関係性を越えて、社会のつくり手として共に学ぶことの楽しさと大切さに気づかせてくれます。本書を通じて、教師としての自分が生徒とどんな学びの文化をつくりたいのか、そのためにつくことができることは何かを考えさせられることがあります。

(協力者 井久保大介)

ISBN978-4-7948-1182-0

5月 下旬刊

四六並製 四〇〇頁 予三〇八〇円

生徒指導をハックする

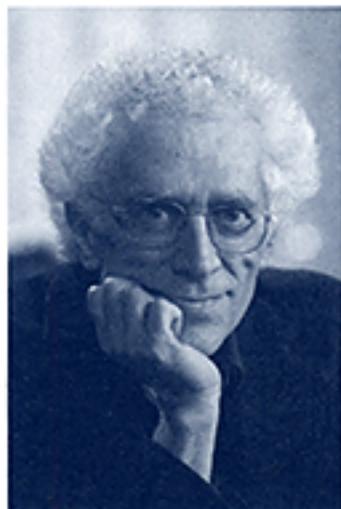
(二六四〇円)

好評

「おさるのジョージ」を教室で実現
〔好奇心を呼び起させ!〕
W.L.オストロフ / 池田匡史・吉田新一郎訳
二七五〇円

クトの設計段階から生徒や専門家の意見を積極的に取り入れます。計画段階では、生徒一人ひとりの違いをいかせるような豊富な足場(支援)が用意されています。さらに評価については、評価基準を生徒と一緒につくることもあります。このように、教室にいる教師と生徒が互いの公平性を保ちながら、プロジェクトを通してつくる文化がPBLの学びを最大限に引き出すのです。

著者 Suzie BOSS バック教育研究所メンバー、教育コンサルタント。『ニューヨーク・タイムズ』紙など各種メディアで生活の改善や地域社会の変革に資する教育と学習の力に着目した記事を執筆。John LARMER バック教育研究所編集長。



晩年の著者 (©E. Fougere/
VIP Images/Corbis)

政治不信、権力政治への無力感を克服した人々の行動・感情はいかにして「善」を到来させたのか。明晰な思想史家が私たちを省察に誘う

善のはかなさ

ブルガリアでのユダヤ人救出

ツヴェタン・トドロフ 編(テキスト収集及びコメント)／小野 潮 訳

◆ジャンル:人間学・反差別戦中史

東欧の小国ブルガリアは日本人には馴染みの薄い国である。長年オスマントルコの支配下にあり、第二次大戦後はソ連の衛星国だった。その小国で、大戦終了直前に、ひとつできごとがあつた。当時、ドイツ語圏出自の国王を戴き、枢軸国の一角をなすこの国で、国内のユダヤ人は、ナチスの強制収容所送りをすんでのところで逃れることができた。

本書が提起するのは、なぜそんなことが可能だつたのかという問いである。

この国にも、ユダヤ人への抑圧は存在した。反ユダヤ的法律も制定された。この法律には多くの職業団体や国家体制の重要な一翼を担うブルガリア正教会などが反対したが、政府は反ユダヤ的政治運営を放棄しなかつた。これにより、まず、第一次大戦の結果としてブルガリアの管理下に入った領土(マケドニアと西トラキア)に住むユダヤ人の、ブルガリア国外の強制収容所への移送が開始される。転換をもたらしたのは、国会副議長ベシエフが主導した、政府支持派だったはずの四三人の代議士による請願だった。このユダヤ人救出のための請願の発出と、その背後にあつた多くの国民の支持が、国王にユダヤ人の強制収容所送りを諦めさせた。

本書はこの劇的できごとを、当時の

ツヴェタン・トドロフ
好評

野蛮への恐怖、文明への怨念

（おの・うしお／一九世紀フランス文学）

ISBN978-4-7948-1180-6
5月 下旬刊
四六上製 予二五〇頁 予三三〇〇円

資料とその後の証言に語らせようとするものである。編者トドロフの執筆部分は原書全体の四分の一に留まり、他の部分はできごとを取りまくさまざまの資料・証言で構成されているが、編者トドロフはこの手法で、なぜそのようなことが可能になつたのかを読者自身に考えさせようとしている。

そこから見えてくるのは、「善」を現実に到来させるためには何が必要かということである。それは、複雑な状況において「善」を効果的なものにする行動とはいかなるものかを見極める明晰さと、それを促すとともに人間的感情に他ならない。トドロフ自身は本書に付したコメントを次のように締め括っている。

「〔…〕悪はたやすく広がる。これに対し、善は困難で、まれで、もろいものとして留まる。しかしそれでも、善は可能な限りである。」

著者 Tzvetan TODOROV(1939-2017) ブルガリア出身のフランスの文芸理論家、思想史家。当初は構造主義的文学理論を代表する論者として知られたが、世界の中の人間を直接的に論じる著述を、他者論、民主主義論、絵画論といった幅広い領域をフィールドとして次々と発表し、過去と対話しつつ現代を思考する姿を見せる。

マーク・バーンズ+ジェラード・ゴンザレス／小岩井 優・吉田新一郎 訳 『「学校」をハックする——大変な教師の仕事を変える10の方法』



学校でのICT、使い方次第で無用の長物になることも。重要なのはハックのアイディアだ (©OLPC)

働き方改革の必要性から学校の業務改善が叫ばれているが、その進み方はあまり芳しくない。

昨年の臨時休業では、通常とは異なった勤務の仕方や子どもとの関わり方を経験した。また、全国の自治体でタブレット配布や通信環境などの整備が急ピッチで進行している。見方を変えれば、これまでの「学校」というものを見直す好機にあるともいえよう。

「ハックする」とは、セキュリティを突破して侵入するというネガティブな意味合いに受け取られているが、本書では、仕事の質や効率を高める強力な

米国発の「働き方改革」提案

■評者 大澤正子(元公立小学校校長)

働き方改革の必要性から学校の業務改善が叫ばれているが、その進み方はあまり芳しくない。

『日本教育新聞』2021年2月22日

「アイディア」の意で用いられている。米国の学校での実践に基づく10の提案と実例が紹介されているが、「長時間の無駄な会議」「ほとんど行われていない相互の授業見学」「小さな問題行動への対応」「ICTサポートの不足」「新任教師の育成と支援」「本離れ」「クラス運営」など、米国の教師も日本と同じ課題で悩んでいることが興味深い。

ところで、学校で実際に何かを変えようとすると、「でも」という声が出てブレークがかかる

好評刊
ISBN978-4-7948-1166-0



「学校」をハックする
大変な教師の仕事を変える10の方法
マーク・バーンズ ジェラード・ゴンザレス
吉田新一郎 訳
HACKING EDUCATION
[大変な教師の仕事を変える10の方法]
学校内外に今ある資源を有効活用、学びにあふれた空間へ！

四六並製 二二一四頁 二二〇〇円

ことがある。本書では、そうした「でも」という周囲の人たちをどう動かすかという課題にも応えている。学校には、まだ人や物、場所など眠つたままの資源がある。目の前にある物を違う視点から見直して、少しの工夫を加えれば意味あるものにすることが可能となる。本書からヒントを得て、「変える」に挑んでほしい。

本を売る

誰のための本か

この業界で働き始めてから日々、本の販売データと向き合ってきた。ようやく思う。発売された本の売れ行きを確認しては今後発刊される本の実売を予測し、取引先である出版社へ部数を提案する。なぜその実績になつたのか考へて検証することが大事だが、単純に何冊売れたという事実のみに焦点を当ててしまいがちで、本に対しても熱意を持つというより、「商材」として機械的に捉えることが当たり前になり、データのみで判断できるのであれば率直にこの仕事は自分ではなくてもよいと思うことがある。本への目利きが鋭いわけでもなく、むしろ苦手だと感じる場面も多い。しかしだからこそ、面白い、仕掛けたいと思える銘柄は、データによる裏付けと自らの感性の限りを尽くして最大限の部数で提案することを心掛けている。面白いと感じた本を一人でも多くの人に読んでもらいたいと思うのは單なるエゴだが、大切にしたい感情でもある。また私見だが、人が本を読むのは何かを解決したいからだと考

えているので、素晴らしい本が誰かの人生の役に立つのであれば、その一端でも自らが関わることは大変喜ばしい。

出版業界の現況をみると、コロナ禍で本の売上が例年に比して好調だ。外出を控えて余暇を家で過ごす人が増え、久しぶりにじっくりと読書をした人も多くいるのではないかだろうか。動画視聴やゲームなどをして過ごすばかりではなく、この機に本を読もうと考える人がまだ多くいるのであれば純粹にうれしく思う。世情を考えると手放しに喜べるような状況ではないが、出版業界で働く人間にどうしてこの「果ごもり需要」は有難いものである。しかし同時に、一種の特需であるからこそ、今後もう一度いつた人々に余暇を読書に充ててもらえるよう、つまるところ継続的に本を買っていただけるように何ができるか考え行動する必要がある。本そのものだけでなく、その先にある「本を読む人」に目を向け、自分にできること、やりたいことを今後も探していくたい。

本誌表示価格はすべて税込です。

安村 崇
ネット営業担当

書評日誌(2・4~3・6)

◎書評 ◎紹介 ◎関連記事

- | | |
|------|--------------------------------------|
| 1月号 | ◎生活と自治『未来を創造する物語』(訳者談) |
| 2・4 | ◎本の花東『脱原子力 明るい未来のエネルギー』 |
| 2・12 | ◎朝日新聞(夕刊)『まちがいなんてないよ』(マリオンブレゼントコーナー) |
| 2・13 | ◎図書新聞『虚構の「近代』 |

- | | |
|------|-------------------------------|
| 2・22 | ◎日本教育新聞『学校』をハックする』(大澤正子) ▶P.6 |
| 2月 | ◎月刊ねこ新聞『猫と和む』 |
| 3・6 | ◎図書新聞『アナキスト本をよむ』(白石嘉治) |
| 3月号 | ◎月刊教職研修『夢授業』 |

増刷2刷出来
ISBN978-4-7948-1132-5



四六上製 二四〇頁 二四二〇円

地球に降り立つ

B・ラトウール／川村久美子訳・解題
〔新気候体制を生き抜くための政治〕
大地に根ざすあらゆる地上的存在!!「テレストリアル」概念への説い。
空気、雨、水、河、気象、土壤、生物、地殻上のあらゆる住民者が声を上げている。



増刷8刷出来
ISBN978-4-7948-0826-4

L.-J. R. Lévy-Bruhl
ギヴァー 記憶を注ぐ者
少年は理想郷を捨て、真実をさがす旅に出る
四六上製 二四〇頁 二四二〇円

ギヴァー 記憶を注ぐ者

一切の苦痛のない理想郷の秘密を知った時、少年は旅に出る!近未来SFの名作、待望の新訳!
四六上製 二五六頁 一六五〇円

本を読む

天岩戸神話を歩く ■

長野北部の戸隠と宮崎北部の高千穂はだいぶ距離が離れていて、つながりがあるのかと疑問に思つていたが、本書を読んでそんなことはどうでもよくなつた。むしろ神話の持つ時空を超えた世界観にひたるべきと感じ、高千穂を旅したくなりました。（秋田市 団体役員 渡部雅子 78歳）

「学校」をハックする ■

この本から伝わるメッセージは、「学校を透明にしよう」ということです。学校は、コロナ禍以前からプラックボックスと化していました。「我が子は、どのような環境で、何を学んでいるのだろう？」

そう疑問に感じる保護者の方も多いのではないかでしょうか。本書はその解決のヒントをくれます。例えは、第2章で紹介されている「オープクラス・チャート」。教員間で、お互いの授業をゆるやかに公開する方法ですが、オンラインで学校外でも共有するのも面白

いのでは。学校だけが子どもの教育に對して責任を負い過ぎている

今、多様なステークホルダーが力を合わせて生徒の成長を支えるための示唆が詰まっています。（長岡市 中学校教諭 上山晃平 25歳）

好奇心のパワー ■

大人が自分自身の価値観を知ることの大切さを、本書を通して実感した。教員もそれぞれ価値観が異なっているのだから、それを尊重した上で共同的／協働的に働いていけるとよいです。（川崎市 小学校教員 岡田渉 42歳）

好評刊

天岩戸神話を歩く

〔高千穂から戸隠へ〕

〔みやのゆき〕

カンボジア自転車プロジェクト

〔オーランが国際支援をはじめた！〕

〔安田勝也〕

二四二〇円

寿ぐひと

〔原発、住民運動、死の語り〕

〔鷲守さやか〕

二六四〇円

好奇心のパワー

〔コミュニケーションが変わる〕

〔吉田新一郎訳〕

編集部から

営業部から

文学の香り漂う風通しのよい店内で、薩摩焼酎と上海仕込みの餃子に舌鼓をうつ。神保町の老舗居酒屋「兵六」は今日も開店即満員。「会食感染」の心配はご無用、実はこのお店、コロナ禍を予期していたかのようない法」を掲げているのです。さてその中身は：新刊『兵六』を読んでの

お楽しみ▼好評刊『まちがいなんかないよ』の作者最新作『ぼくのなかの木』は、緑萌える五月にびつたりの絵本！自然の恵みに浴し躍動する子どもたちの姿が野外へと誘います▼

思想史家トドロフは「善のはかなさ」に「悪はたやすく広がる」と綴りました。これはあえて歴史を繙かずとも、目前の五輪ファシズム、日本官邸やミャンマー軍の白色テロから

容易に頷けます。困難なのはその書で描かれるブルガリア史の一齣

で「善を到来させる行動」です。その具体的方途を示唆し、私たちに勇気をくれます。

⑧あなたの自身の社会
⑨「おさるのジョージ」を教室で実現
⑩ギヴァー記憶を注ぐ者
⑪増補版作家の時間
⑫「学びの責任」は誰にあるのか
⑬読書家の時間
⑭オーデュボンの鳥
⑮学校図書館をハックする

⑥教科書をハックする
⑤地球に降り立つ
⑦最高の授業

③ぼくはにんげん
④宿題をハックする
②スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む

▼直近3ヶ月（2020年12月～2021年2月）弊社のアマゾン売上ベスト15をご紹介致します。
①たった一つを変えるだけ
②スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む

SBC（新評論ハッククラブ）のご案内
会員は送料無料！各種特典あり！お申し込みを！

当クラブ（一九九九年発足）は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊P.R誌「新評論」を定期的にご送付しております。

入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいたしましたことに、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。

ご入会希望の方は小社HPフォームからお送りいただき、メール、またはハガキにて、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。